

# <危機感と緊張感>

危機感 → 今のままではいけないという不安や圧迫感。

緊張感 → 張り詰めた気持ち。注意深くなり気持ちが高ぶった状態。

この言葉の共通点は、

自分のやらなければならない事や指示されたことに関して、責任感や意識を持っていないと育ちにくい感情で、失敗経験と物事の関する想像力も求められます。

スイッチでは、ここ「も」大事にしています☆ 意外と出来ています!

苦手だし、難しいですよ〜。  
大人でも苦手な人少なくないですよ。

スイッチの対応  
ポイント!

4

答えを言わず、自ら「考える」行動を  
しなければならないような状況と声かけ

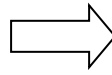


危機感や緊張感を持った行動に  
繋がる! なっている!

特に、経験済みの事は逆になぜ出来ないかを探り、その理由を踏まえてからのスタートになります。経験済みの事に関しての記憶力と学習力は大人の想像を超えたものがあります!

\*経験済み 及び 一人で熟した事があることに関しては…

「考える」「気づける」ような  
状況や声かけ等をする。



本当に思い出せない、分からないような時は、  
それをきちんと伝えなければならないような  
声かけ等をする。

どの部分にしても、考えて出した答えと行動に関しては、正解や不正解ではなく、考えたことに対してしっかり認め、訂正や修正を行っています。なので、その行動が見られないとしっかり指摘をされるので、緊張感と危機感を持った行動が出来ていると思っています☆ 認められる事によって、達成感と実感を得て、自信に繋がっている姿も見られます。

危機感と緊張感は、なかなか日常では育ちにくい感情です! どこに就職・就労しても「仕事」ですし、「社会人」です! この気持ちは育てて悪いものではありません。自分のやるべき事に最後まで責任を持って熟す力! は、どこでも求められます。

(勿論、特性等の考慮はあります。ただ性格の考慮は、時と場合ですよ〜。)

就職・就労のどちらも「賃金を頂きます!」仕事に行くという事を忘れてはいけませんよ。

また、「賃金が発生するところで働いて欲しい。」のではなく、「賃金が貰える仕事に就職・就労するには、どんな力が必要なのか」の追求ですよ。

# <指示の読み取り力と聞き取り力>

ミッションボードの進め方に変化を入れました。

パターン① ボードに文字で示された指示を読んで(見て)確認をして順番に進めていく。

パターン② 2~3つの指示をスタッフが読み上げ、聞き取り理解をして順番に進めていく。

流れが掴めると、ミッションボードの内容が気になって、やるべき事の優先順位がおかしくなってしまう子が多くなり工夫を入れました。上記の2パターンをランダムに指示を出すようにし、文字認識力・聞き取り力・応用力・やるべき事への優先順位などの向上が目的となっています。

特に聞き取りに関しては正に、「危機感と緊張感」を持った行動が見られます。やるべきことに関しての意識が伸びているのも分かります。すごいですよ〜★ 報連相と作業の質も上がってきています。